

県立那覇西高等学校平成30年度 シラバス（書道）

科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学科	担当者
書道 I	2	1	必修	普通科・国際人文科・体育科	神谷 理恵子

1. 科目概要および目標

- ・個性豊かな表現と書の美しさを感じ取る鑑賞の能力を伸ばす。
- ・書を楽しむ態度をとおして感性を高め、書の文化や伝統についての理解を深め、愛好する心情を育成する。

2. 成績評価

- ・臨書において対象となる古典の特徴を表現できたか。また創作において意図した表現ができたか。
- ・仮名について基本的な用筆が習得できたか。
- ・執筆法の重要性を理解しながら、漢字仮名交じりの創作作品において、自分の意図した表現をすることができたか。

定期テスト等	15 %	その他態度等	15 %	授業・提出物	75 %
--------	------	--------	------	--------	------

3. 使用教科書・教材

教育出版 新編 書道 I

4. 授業の展開と形態

単元の目標を把握させ、解説や指導を行い、練習から清書書きをする。

5. 学習方法

- ・実技・・・篆書・草書・楷書・行書・隸書・仮名・漢字仮名交じり・刻字・表札・色紙の練習、添削を行い作品内容の向上を図る。
- ・鑑賞・・・書道展入賞作品や名筆古典書をビデオで鑑賞し、本物の芸術を味わう。鑑賞する事は、自らも豊かになり、書写表現にもその豊かさが表れる。

6. 履修上の留意点

(1) 科目選択をする際考慮すべき事項

- ・教材（墨、紙〈半紙・半切〉、材木、色紙）は、学校で一括購入をする。その際、教材費は、新学期に納入させる。
- ・用具（硯、下敷き、文鎮、墨池、のみ、木槌）は、書道教室の物を使用させる。

(2) 就職・進学試験等と関連しての注意事項

- ・毛筆・硬筆書写検定（文部科学省認定）3級以上の合格を目指す。
- ・県内、県外の書道展出品・入選を目標とさせる。

年間授業計画

月	章	節	単元	配時	マーク欄
			オリエンテーション	1	/
4月	<第1章> 書道の学習 を始めよう	1. 姿勢・執筆 (4)	1. 生活に必要な事物を機能化し、より美しいものを作る。 2. 書の特徴を理解し、用筆・運筆を習得する。	2 2	/
5月		10 2. 用筆・運筆 用具・用材 (6)	1. 書について論述した書論を読む。 2. 学習した古典の表現を生かし、書の作品を創作する。	4 2	/
6月	<第2章> 漢字仮名交 じりの学習	1. 書道に親しむ (10)	1. 甲骨文・金文の鑑賞と臨書 2. 泰山刻石の鑑賞と臨書	5 5	/
7月		20 2. 書写からの発展 (10)	1. 楷書から行書へ 2. 漢代木簡の鑑賞と臨書 3. 張遷碑の鑑賞と臨書 4. 楷書・行書による創作と鑑賞と臨書	2 2 4 2	/
			◎定期考査(期末)		
9月	<第2章> 漢字の書の 学習	3. 楷書の学習 (4)	1. 牛廐造像記の鑑賞と臨書 2. 雁塔聖教序の鑑賞と臨書 3. 九成宮れい泉銘の鑑賞と臨書	2 2	
10月	<第3章> 漢字の書の 学習	1. 行書の学習 (4)	1. 蘭亭序の成立と歴史的位 置 2. さまざまな行書の鑑賞と臨書	2 2	/
		18 2. 行書の特徴 (4)	1. 争坐位稿の鑑賞と臨書 2. 風信帖の鑑賞と臨書	2 2	
11月		3. 日本の行書 (6)	1. 三筆と三蹟 2. 嵯峨天皇の作品臨書 3. 橘逸勢の鑑賞と臨書	2 2 2	/
		4. 楷書・行書による創作 (4)	1. 作品制作の手順・方法 2. 作品の表現を生かし、題材を選んで創作を行う。	2 2	
12月	<第4章> 漢字の書の 学習	1. 篆書の学習 (4)	1. 甲骨文の鑑賞と臨書 2. 金文の鑑賞と臨書	2 2	/
		6 2. 様々な篆書の工夫 (2)	1. 用筆・運筆の工夫 2. 素材を生かした表現の工夫	1 1	/
			◎定期考査(期末)		
1月	<第5章> 篆刻 と 刻字の 学習	1. 篆刻の学習 (2)	1. 側款の刻り方 2. いろいろな種類の印	1 1	/
2月		1. 刻字の学習 (4)	1. 書と刻字 2. 刻字の方法		
3月		8 2. 実生活での使用 (4)	3. 刻字の用具と手順 4. 看板・表札の創作	8	/

()内は節時数

/ 単元終了日時